

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和元年度第1回武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	令和元年9月2日(月) 午後2時5分 ~ 午後4時5分
開 催 場 所	市役所4階 403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：倉持会長、森林副会長、内野(均)委員、北原委員、齋藤委員、 内野(喜)委員、谷治委員 欠席者：なし
議 題 等	1 会長の互選について 2 平成30年度地方創生関連交付金活用事業評価について
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保 留事項等を記載す る。)	1 会長は倉持委員に決定する。 2 平成30年度地方創生関連交付金活用事業について、2つの事業い ずれも地方創生への効果はあるものとし、推進委員会からの意見をまとめ て、後日委員に確認する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は 一つにまとめる。)	1 会長の互選について (事務局) 会長については、設置要綱第4条第1項の規定により委員の互 選で選任する旨を説明 (委 員) 会長に倉持委員を推薦する。 —異議なし—  2 平成30年度地方創生関連交付金活用事業評価について (事務局) 平成28年度地方創生拠点整備交付金(平成30年度実施)に 係る事業実施結果報告(村山温泉「かたくりの湯」施設整備事 業の概要、K P I実績値等)について説明  —質疑・意見等— (委 員) 配布された参考資料を見ると、村山温泉かたくりの湯の年間 入場者数はリニューアル前と比較して減少していることがうか がえる。 また、資料2の課題の欄には昨今の温泉ブームにより近隣市 にある同様の施設と競合しているため、来館者が減少した旨の 記載がある。 確かに近隣市に同様の施設があることにより利用者数が減少 することは理解できるが、収支がマイナスになっていることを 考慮すれば、到来している温泉ブームを活用し、来場者の増加 を図るための取組を実施すべきではないか。 (事務局) 村山温泉かたくりの湯は、市の貴重な観光資源であるため、 都立野山北・六道山公園のあそびの森と冒険の森と連携してP Rに努めているが、今後も来場者数の増加に向けた取組につ いて検討していきたいと考えている。 (委 員) 都立野山北・六道山公園との連携について詳細を伺いたい。 (事務局) 西武・狭山丘陵パートナーズが指定管理者として、都立野山 北・六道山公園や、里山民家を含めた狭山丘陵周辺の都立公園 を一体的に管理しているため、これらの公園や施設と合わせて 村山温泉かたくりの湯のPRが行われている。 (委 員) 都立野山北・六道山公園の利用者には、村山温泉かたくりの 湯の入場料が割り引かれるなどのサービスはあるのか。 (事務局) 現在はそのようなサービスはないと思われるが、利用者を増

	<p>加させていく上では、必要になると思われるため、所管課に伝える。</p> <p>(委員) 村山温泉かたくりの湯の利用者数が減少している理由としては、利用料金が他の温泉施設と比較して高いことが考えられるが、利用料金はどのように設定しているのか。</p> <p>(事務局) 村山温泉かたくりの湯は公の施設であるため、武蔵村山市立温泉施設設置条例において、利用料の上限が定められているが、あくまで上限であるため、指定管理者が上限を超えない範囲で利用料を設定することが可能となっている。</p> <p>なお、利用料については、市民から高いという意見だけでなく安いという意見をいただくこともあるため、利用料だけが利用者数の減少理由ではないと思われる。</p> <p>(委員) 資料1には、本事業のKPIとして温泉施設収支額が掲げられており、昨年度の収支を見ると2,637万円のマイナスであった旨の記載があるが、当該マイナスについては指定管理者が負担しているのか。</p> <p>(事務局) そのとおりである。</p> <p>村山温泉かたくりの湯は、市が直接運営する形でオープンし、当時は収支がプラスであったと記憶しているが、その後、指定管理者制度を導入して以降、収支がマイナスの状況が続いており、その主な理由としては、原油の高騰や、施設の老朽化に伴う修繕が挙げられる。</p> <p>なお、施設の大規模改修等については市が費用を負担している。</p> <p>(委員) 村山温泉かたくりの湯がオープンした当初に収支がプラスとなっていた理由を伺いたい。</p> <p>また、運営を指定管理者ではなく、市が直接行うように戻した場合、収支はプラスになるのか。</p> <p>(事務局) 村山温泉かたくりの湯がオープンした当初は、近隣に同様の施設がなく、利用者が多かったため、収支はプラスであった。</p> <p>また、運営を市が直接行う方法に戻した場合の収支であるが、市職員を配置することなどを考慮すると、市職員の方が指定管理者の社員より人件費が高いと思われるため、現在よりも費用が掛かることが予想される。</p> <p>(委員) オープン当初から比較して利用者数が減少傾向にある理由としては、近隣市に同様の施設が整備されたことだけでなく、村山温泉かたくりの湯自体の良さが利用者に伝わっていないことも考えられる。</p> <p>(委員) 垢擦りやマッサージ等のサービスを実施すれば、利用者が増加するのではないか。</p> <p>(事務局) リラグゼーションサービスとして、マッサージ等を行っている。</p> <p>しかし、容積率の関係で施設を拡充することができないため、これ以上スペースを確保できないなどの課題もある。</p> <p>(委員) 利用者の減少を理由として施設を廃止する予定がないのであれば、今後は抱えている課題を改善していくことに力を入れるべきである。</p> <p>よって、村山温泉かたくりの湯の具体的な在り方については、市民向けの施設とするか、観光客向けの施設とするかで今後の方向性も変わってくると思われるが、例えば、狭山丘陵を観光で訪れた方を対象としてお風呂のみ利用できる料金を設定する、あるいは市民を対象としてプールのみ利用できる料金を設定するなど、利用目的に応じた料金設定にはどうか。</p>
--	---

	<p>(事務局) 市としては、村山温泉かたくりの湯を中心に観光施策を展開していくことを長期総合計画等に掲げているため、観光客を呼び込む方策も検討していく必要がある。</p> <p>一方で、村山温泉かたくりの湯が公の施設であることから、市内の方と市外の方で利用料金が異なる設定としていることには、現時点でも賛否があるため、片方だけを優遇することにならないよう慎重に検討する必要がある。</p> <p>(委員) 市内の利用者と市外の利用者について、片方だけを優遇することが難しいことは理解できるが、利用目的に応じて料金を分けることはできないのか。</p> <p>(事務局) プールが施設の中央に位置していることなどを考えると、プールと温泉の片方だけの利用に制限することは、現状、難しいと思われるが、運用が可能かもしれない。</p> <p>(委員) 今の時代、主たるサービスが温泉とプールだけとなると、自然に利用者数が増加することは、難しいと思われる。</p> <p>よって、観光施策の中心として展開していくのであれば、風呂・食事処として、狭山丘陵を観光で訪れた方々を取り込むためのサービスを充実させる必要があるだろう。</p> <p>(委員) 学校給食センターを建て替える旨の話を伺ったが、学校給食センターの場所を活用して、道の駅の設置を検討してはどうか。</p> <p>(事務局) 学校給食センターについては、市街化調整区域に建っているため、そのままでは取り壊した後新たな建物を建設することができない。</p> <p>また、前の道路が湾曲していることから、道の駅を設置した場合、交通渋滞だけでなく、交通事故も懸念されるため、以前、東大和警察署から、道の駅の設置は難しい旨の話をいただいたこともあった。</p> <p>(委員) 道の駅が難しいのであれば、温泉と相乗効果が期待できる施設や仕組みがあれば良いと思われる。例えば、キャンプ場を設置すれば、観光客の増加と合わせて村山温泉かたくりの湯の利用者数の増加も期待できるのではないか。</p> <p>(事務局) 市としても村山温泉かたくりの湯の利用者数の増加に向けた取組について、検討していきたいと考えているため、いただいた提案については、所管課に伝える。</p> <p>(委員) 最近では、村山温泉かたくりの湯で提供されている食事メニューの中に女子栄養大学が監修する料理もあり、実際にいただいたところ美味しかった。このため、料理メニュー等を上手に周知していくことで、利用者数を伸ばすことはできると思われる。</p> <p>(委員) 食事メニューが好評とのことであるが、村山温泉かたくりの湯の利用者にはアンケートなど、意見を聴取しているのか。</p> <p>(事務局) 利用者に対するアンケートは実施しており、食事に関しては、メニューが少ないことや、味付けに関する要望など、期待の裏返しとして厳しい意見をいただいたこともある。</p> <p>(委員) 利用者に対するアンケートについては、例えば、市内の方と観光客とに分けて意見を伺うことや、他の温泉施設と比べて良い点・改善すべき点など、アンケート項目を細かく設定した上で多くの意見を集計・分析することにより、課題の改善に取り組んでいく必要がある。</p> <p>(委員) 資料1の令和元年度事業予定欄について、これまで実施してきた内容と同程度の内容が記載されているため、このままでは、利用者数の増加につながらないと思われる。</p>
--	---

よって、イベント風呂やレストランのメニューを詳しく記載するなど、特色ある温泉施設を打ち出していく具体策を記載すべきである。

(事務局) 所管課と調整して修正する。

(委員) 例えば、平日の日中など、利用者の少ない時間帯に高齢者向けの健康教室を開催するなど、施設の有効利用という観点から福祉部門等と協力して利用者の増加を図ることも重要ではないか。

(事務局) 従前からプールでの健康教室は開催されているが、所管課には更なる連携について伝える。

(委員) 地方創生への効果の有無について皆さんの意見を伺いたい。

(委員) 本交付金を活用して設置した人口炭酸泉が利用者から好評であるとの説明があったため、地方創生の効果としては認められるものの、利用者数が伸び悩んでいるため、周知方法等には課題が残るのではないか。

(委員) イベント風呂については、フェイスブックで告知されていたと記憶している。

(委員) 改修して設置した多目的ルームにおいて、自主事業を実施しているとの説明があったが、具体的にはどのような事業を実施しているのか。

(事務局) ヨガ、ストレッチ、フラダンス教室等を実施している。

(委員) これまでの話をまとめると、本事業について、地方創生に効果は認められるものの、課題も多いため、利用者の意見を反映させて今後の課題を解決していく必要があるとして、これまで出た意見を事務局でまとめていただき、後日確認することとしたい。

(事務局) 承知した。

(事務局) 平成30年度地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告（魅力づくり推進事業の概要、KPI実績値等）について説明

—質疑・意見等—

(委員) 資料2のKPIの補足資料を見ると、平成30年度は情報発信アプリのダウンロード数が614件であった旨の記載があるが、KPIを設定した当初の平成30年度目標値について伺いたい。

(事務局) 平成30年度は270件を目標としていたが、大きく上回る実績となった。

(委員) 子ども達にムサブラアプリのことを聞いても知らない子が多い。観光農園が実施しているみかん狩りなど、一度体験すればリピートしたくなる魅力が本市にはあるため、魅力マイスターと合わせてムサブラアプリを周知していくことが必要である。

(委員) ムサブラアプリでは、どのような内容が閲覧できるのか。

(委員) 位置情報を活用して、本市の伝統文化やグルメ等の魅力を伝承している魅力マイスターの案内で市内を散策しながら、本市の魅力と謎を解き明かすものである。

(委員) 周知が必要なのであれば、ジェイコムに依頼して紹介してもらってはどうか。

(委員) これまで、ジェイコムとしてもデイリーニュースでモニターツアーやムサブラアプリについて紹介してきたところであるが、所管課にコマーシャル化するための予算がなく、恒常的な紹介までには至っていない。

	<p>(委員) ムサブラアプリに載せる広告を募集して、収入を得ることはできるのか。</p> <p>(事務局) アプリの改修は必要になるが、可能であると思われる。</p> <p>(委員) モニターツアーについて、平成30年度は2回実施した旨の記載があるが、事業費を考慮すると、費用対効果は高くないと思われる。</p> <p>今後、事業を再構築していくのであれば、これまでの課題等を改めて精査した上で実施いただきたい。</p> <p>(事務局) 所管課に伝える。</p> <p>(委員) 観光マップの作成状況について伺いたい。</p> <p>(事務局) 観光マップについては、本事業とは別の狭山丘陵連携事業において、狭山丘陵の周辺自治体が協力して作成することも予定している。</p> <p>(委員) 魅力教え隊に一度入隊した方はずっと継続していくのか。</p> <p>(事務局) 隊員になった場合、隊員証が交付されるものであり、基本的には継続していただくこととなっている。</p> <p>(委員) 「#MM教え隊」のハッシュタグを検索してSNSの発信数を計測している旨の説明があったが、発信されただけの情報よりもリツイートされている情報の方が拡散されていることがわかるため、カウント方法の見直しを検討してはどうか。</p> <p>(事務局) いただいた意見については、所管課に伝える。</p> <p>(委員) SNS発信数については、ツイッター及びフェイスブックにおける件数をカウントしているとのことであるが、インスタグラムの件数はカウントしないのか。</p> <p>(事務局) 所管課としてもInstagramによる情報発信が増えてきていることについては認識しているが、KPIを設定した当初から、ツイッター及びフェイスブックに限定してカウントしてきたため、今後の取扱いについては、検討させていただきたい。</p> <p>(委員) KPIの実績について、本市の情報のみでは効果が判断しづらい部分もあるため、東京都内で本市と同様のKPIを設定している自治体があれば、状況を伺いたい。</p> <p>(事務局) 本交付金が地方創生を目的としていることから、東京都内における交付例が少なく、把握している限りでは、同様のKPIを設定している自治体はない。</p> <p>(委員) 資料2の事業概要を見ると、来訪者の増加や市内経済の活性化を目的として実施している旨の記載があるが、具体的な効果は把握できているのか。</p> <p>(事務局) 効果検証においては、RESASの値を用いて行っているところであるが、情報更新がリアルタイムではないことから、先ほど皆様に審議いただいた、地方創生拠点整備交付金で掲げたKPIである民間消費額も含めて、詳細までは把握できていない状況にある。</p> <p>また、来訪者についても、RESASでは、特定の場所を指定した集計はできず、市内全域の集計しかできないことから、詳細までは把握できていないが、このような状況であっても、観光施策等の実施を継続することにより来訪者等を増やしていきたいと考えている。</p> <p>(委員) モニターツアーを実施したことにより、参加者等と地域の関係者との関係が深まるなど、具体的な効果は出ているのか。</p> <p>(事務局) モニターツアーの参加者に意見を伺うと、訪れた観光農園や飲食店等が好評であり、再び訪れたい旨の意見も多いため、再訪につながっていると考えている。</p> <p>また、市としても、本事業を通じて魅力マイスターの方々や</p>
--	--

	<p>地域の方々と顔の見える関係性が築くことができているため、他の事業を実施する際などの関係性の構築に寄与している。</p> <p>(委員) 話を伺う限りでは、本事業の効果を参加者数だけで捉えるのではなく、参加者と地域の方々との関係性を表したものにすべきであると感じた。</p> <p>(事務局) K P I は数値的な目標で示すことが望ましいとされているため、参加者数を掲げており、御意見のような関係性を表したものを設定することは難しいが、新たな計画を策定する上で参考とさせていただきたい。</p> <p>(委員) モニターツアーの実施後に、魅力マイスターの方々から意見を伺う機会はあるのか。</p> <p>(事務局) 魅力マイスターの方々が参加する魅力づくり推進協議会において、モニターツアーの実施内容や実施後の活動報告を行っているため、当該協議会において、魅力マイスターの方々から御意見をいただいている。</p> <p>(委員) 配布された武蔵村山のフード&amp;ヒストリー体験コースマップは一般に配布されているのか。</p> <p>(事務局) 配布しており、インターネットからダウンロードも可能である。</p> <p>(委員) モニターツアーについて、本年度は目標値である80人以上を定員として募集するのか。</p> <p>(事務局) モニターツアーについては、開始当初は大型バスを用いて実施していたため、80人を目標に設定していたが、観光農園等の近くに停車するスペースがないことから、中型バスに変更した経緯がある。</p> <p>このことから、中型バスの乗車可能人数を基準とした募集人数になると思われるが、今後開催される魅力づくり推進協議会においてコースも含めて決定されるものである。</p> <p>(委員) モニターツアーについては、アンケート結果を踏まえてコース設定を行うことが重要であり、人気がある狭山丘陵とみかん狩りに特化することや、東西のコースだけでなく北部の本村地域や南部の新興住宅街についてもコースを設定してはどうか。</p> <p>(事務局) いただいた意見については、所管課に伝える。</p> <p>なお、文化振興課が市の南部を対象とした歴史散策コースの策定について検討を進めているところであり、モニターツアーのコースとは異なるが、市の歴史や文化を体験できるコースになるとと思われる。</p> <p>(委員) 地方創生への効果の有無について皆さんの意見を伺いたい。</p> <p>(委員) 効果は認められるが、費用も掛かっているため、費用対効果の向上には課題が残っている。</p> <p>(委員) これまでの話をまとめると、本事業について、地方創生に効果は認められるものの、課題も多いため、これまで出た意見を事務局でまとめていただき、後日確認することとしたい。</p> <p>(事務局) 承知した。</p>
--	--

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-left: 20px;"></div>	傍聴者： <u>  0  </u> 人
-----------------	---	---------------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： )
------------------	---

庶務担当課	企画財務部 企画政策課(内線：375)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)